

加古川市事務事業評価シート〈令和元年度実施事業〉

事務事業名	男女共同参画推進事業	部局名	協働推進部
		課(室)名	男女共同参画センター

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	04互いに尊重しあって暮らせる社会を実現する
施策	02男女共同参画社会の形成を推進する
事業実施期間	平成14年度～永年
事業区分	⑤市施策事業(経常)
地区別	市内全域
関連根拠法令等	男女共同参画社会基本法、女性の職業生活における活躍の推進に関する法律、加古川市男女共同参画行動計画等

【事業概要】

現状と課題	少子高齢化や人口減少など社会情勢の変化に対応し、社会や経済を活性化させるため、男女が様々な分野でともに参画し、責任を分担し、個性と能力を發揮できる社会の実現が求められている。この男女共同参画の理念を早期に社会に普及させるため、より一層の啓発を進める必要がある。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	男女共同参画社会の実現の必要性を市民が深く知るところとなり、男女共同参画社会の構築を担う人材が育成され、女性の社会参画や男性の家庭・地域参画が増加する。
対象 ※誰、何に対して	すべての市民
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	男女共同参画センターを拠点に、男女共同参画に関する啓発事業や情報の収集と発信を実施する。また、女性の再就職等チャレンジを支援する講座、相談事業及び市民グループの育成等を行う。

【コスト】

		令和元年度(決算見込)
事業費合計		2,529千円
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	2,529千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	02 総務費
項	01 総務管理費
目	28 男女共同参画推進費
細目	005 男女共同参画推進事業

【コスト推移】

	平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(決算見込)
事業費合計	3,132千円	1,113千円	2,529千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	男性の家庭参画や女性の就労支援など、計画的に事業を実施し、啓発事業としては一定の効果を得た。今後も、男女共同参画社会の実現に向け、より一層の意識啓発を図るため第4次男女共同参画行動計画に沿った事業展開を行う。

加古川市事務事業評価シート〈令和元年度実施事業〉

事務事業名	男女共同参画推進事業	部局名	協働推進部
		課(室)名	男女共同参画センター

【対象】

対象指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
加古川市人口（10／1付推計人口）	人	265,055	265,897	264,508

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業実施回数	回	36	43	32
活動指標分析結果	出前講座の開催数が例年に比べ減少したが、事業は概ね予定どおり実施した。受講者アンケート等をもとにニーズ把握に努め、今後の企画の参考にする必要がある。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	目標年度	目 標 値
審議会等への女性の参画率	%	30.2	31.8	30.8	令和2年度	40
事業参加者数	人	684	991	854	令和2年度	900
活動団体数（男女）	団体	5	5	8	令和2年度	8
成果指標分析結果	審議会などの女性委員の割合は30.8%と減少傾向であるため、引き続き目標達成に向け推進を図る。また、事業参加者数については、引き続き市民ニーズに応じた講座の開講や出張講座の積極的なPRにより参加者のさらなる拡大に努める。					

加古川市事務事業評価シート〈令和元年度実施事業〉

事務事業名	女性活躍推進事業	部局名	協働推進部
		課(室)名	男女共同参画センター

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	04互いに尊重しあって暮らせる社会を実現する
施策	02男女共同参画社会の形成を推進する
事業実施期間	平成28年度～永年
事業区分	⑥市施策事業(臨時)
地区別	市内全域
関連根拠法令等	男女共同参画社会基本法、女性の職業生活における活躍の推進に関する法律、加古川市男女共同参画行動計画等

【事業概要】

現状と課題	職業生活における女性の活躍の推進に向け、女性の多様な働き方のニーズに対応し、子育て中の女性が働きやすい就労環境の整備が必要である。また、企業における女性活躍推進と、ワークライフバランスの実現に向けた環境整備が求められている。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	働くことを希望する子育て中の女性が就労し、収入を得る。働く場など社会のあらゆる分野において、女性の力が十分に発揮されるとともに、働きやすい環境が整う。
対象 ※誰、何に対して	市内在住の生産年齢人口の範囲に属する女性
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	女性の就業支援、エンパワーメント促進、ネットワークづくりのための講座を実施する。

【コスト】

	令和元年度(決算見込)	
事業費合計	590千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	590千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	02 総務費
項	01 総務管理費
目	28 男女共同参画推進費
細目	020 女性活躍推進事業

【コスト推移】

	平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(決算見込)
事業費合計	5,654千円	4,792千円	590千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	企業向けセミナー(1回)、女性向けセミナー(1回)からなる女性活躍推進セミナーの開催等を通じて、女性活躍推進の意義の普及・啓発を図ることができた。

加古川市事務事業評価シート〈令和元年度実施事業〉

事務事業名	女性活躍推進事業	部局名	協働推進部
		課(室)名	男女共同参画センター

【対象】

対象指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
15歳から64歳まで (生産年齢人口)の女性 (10/1付推計人口)	人	79,999	78,952	77,940

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業実施回数	回	16	13	8
活動指標 分析結果	事業は概ね予定通り行った。事業実施については、社会情勢やニーズに対応した企画をする必要がある。事業回数の減少については、新型コロナウイルス感染拡大防止のための中止や延期によるものである。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	目標年度	目 標 値
事業参加者数	人	812	554	400	令和2年度	800
成果指標 分析結果	セミナー等の事業参加者数については、新型コロナウイルス感染拡大防止のための中止や延期等による参加者減のため、前年度を下回った。					

加古川市事務事業評価シート〈令和元年度実施事業〉

事務事業名	加古川市連合婦人会活動支援事業	部局名	協働推進部
		課(室)名	男女共同参画センター

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	04互いに尊重しあって暮らせる社会を実現する
施策	02男女共同参画社会の形成を推進する
事業実施期間	～ 永年
事業区分	⑤市施策事業(経常)
地区別	市内全域
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	昭和60年前後には18あった地区の婦人会数も、平成26年度以降は8で増減なく、また、近年は若い世代の加入者数減や会員の高齢化により、組織の活性化や新規事業の展開は厳しい状況にある。昨今、地域コミュニティの希薄化が叫ばれる中、婦人会活動の意義は大きい。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	地域を代表する女性団体である連合婦人会が主催する事業に対する補助金を交付することにより、福祉活動や子育て支援事業等の自主事業を通じて、参加者同士または婦人会会員や住民との交流を促し、地域コミュニティの活性化、再生を図る。
対象 ※誰、何に対して	加古川市連合婦人会
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	連合婦人会が主催する事業に係る補助金を交付する。

【コスト】

	令和元年度(決算見込)	
事業費合計	402千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	402千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	02 総務費
項	01 総務管理費
目	28 男女共同参画推進費
細目	015 加古川市連合婦人会活動支援事業

【コスト推移】

	平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(決算見込)
事業費合計	401千円	400千円	402千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	補助金の交付により連合婦人会の円滑な事業運営につながっている。今後、活動事業をさらに増やすことは難しいと考えるが、現在実施している福祉活動、子育て支援、地域の見守りやボランティア活動は地域コミュニティの活性化に寄与しているところであり、引き続き支援していくことは必要である。

加古川市事務事業評価シート〈令和元年度実施事業〉

事務事業名	加古川市連合婦人会活動支援事業	部局名	協働推進部
		課(室)名	男女共同参画センター

【対象】

対象指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
連合婦人会	団体	1	1	1

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業実施回数	回	10	10	9
活動指標分析結果	連合婦人会の子育て支援事業については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため1回が中止となったが、定例事業を8回実施したほか、平成30年度に続き三世代交流事業を企画し実施した。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	目標年度	目 標 値
連合婦人会加入婦人会	団体	8	8	8	令和2年度	8
連合婦人会会員数	人	690	690	693	令和2年度	530
事業参加者数	人	477	476	434	令和2年度	460
成果指標分析結果	連合婦人会加入婦人会（地区の婦人会）数は平成26年度以降“8地区”で、また会員数は693人で前年度から微増している。事業参加者数は430人を超えており、目標値に近づいている。					

事務事業名	女性団体活動支援事業	部局名	協働推進部
		課(室)名	男女共同参画センター

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	04互いに尊重しあって暮らせる社会を実現する
施策	02男女共同参画社会の形成を推進する
事業実施期間	平成16年度～永年
事業区分	⑤市施策事業(経常)
地区別	市内全域
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	平成16年度に13団体で発足し、平成28年度には団体数が10にまで減少したが、各団体自体の活動は確立されており、団体間の交流・ネットワークも構築されている。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	市内で活動している女性団体、女性グループがお互いにその立場を尊重し、情報交換等を通して、交流連携を深めるとともに、女性リーダーの育成と団体相互のネットワーク化を図り、活力ある地域づくりを図る。
対象 ※誰、何に対して	女性団体連絡会に加入している団体、メンバー
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	各女性団体の活性化と相互交流・連携を促し、地域づくりに寄与する団体の育成と市政参画の促進を図る。

【コスト】

	令和元年度(決算見込)	
事業費合計	70千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	70千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	02 総務費
項	01 総務管理費
目	28 男女共同参画推進費
細目	010 女性団体活動支援事業

【コスト推移】

	平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(決算見込)
事業費合計	117千円	115千円	70千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	<p>平成24年度以降は、市の施策や意向を反映させ、連絡会と市が協働し連携強化を図るため、業務委託から市の直接実施へ変更した。事業対象である連絡会加入団体自体の活動は確立しており、団体間の交流・ネットワークも構築され、事業効果がみられる。男女共同参画社会の形成に向け、女性団体の活動への支援は引き続き必要であるが、新たな形態での活動支援を検討していく必要がある。</p>

加古川市事務事業評価シート（令和元年度実施事業）

事務事業名	女性団体活動支援事業	部局名	協働推進部
		課(室)名	男女共同参画センター

【対象】

対象指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
女性団体数	団体	10	10	10

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
女性団体連絡会事業実施回数	回	3	4	3
女性団体連絡会事業参加者数	人	116	98	203
活動指標分析結果	事業については、概ね予定どおり行った。事業への参加者数は開催内容や定員等により年度ごとに増減がみられる。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	目標年度	目 標 値
女性団体連絡会加盟団体	団体	10	10	10	令和2年度	10
女性団体連絡会加盟団体会員数	人	2,330	2,264	2,291	令和2年度	2,200
成果指標分析結果	加盟団体数の増減がなく、会員数もほぼ横ばいに推移している。					